

トピックス 平成29年度拡大経営会議を開催しました

鉄道総研は、管理職約130名を集めた「平成29年度拡大経営会議」を開催いたしました。本年度の議題は、「鉄道の価値を高めるための目標と戦略」としました。会議では、会長 正田英介の訓示に始まり、理事長 熊谷則道および常勤役員による事業展開と目標に関する講演、各研究部長などによる研究開発成果の品質の向上に向けた取り組みについての報告を行いました。その後、テーマディスカッションにおいて品質の高い研究成果と品質向上に向けた取り組みについて議論を行いました。



ディスカッションの様子

記

開催日時：平成29年4月20日(木) 15時00分から17時30分

開催場所：パレスホテル立川(東京都立川市)

参加者：役員、部門長、研究部長等、課長、研究室長ほか 計128名

議 事

1. 会長訓示

会長 正田英介

2. 議題：鉄道の価値を高めるための目標と戦略

(1) 事業展開と目標

① 鉄道の価値を高めるための目標と戦略

理事長 熊谷則道

② 持続可能な研究所の運営に向けて

専務理事 澤井 潔

③ 研究開発成果の品質向上と普及拡大

専務理事 高井秀之

④ 鉄道技術推進センター、鉄道国際規格センターの戦略的事業展開

理事 米澤 朗

⑤ 研究開発成果の実用化にむけた戦略

理事 渡辺郁夫

⑥ 信頼を維持し続けるために

理事 芦谷公稔

(2) 研究部等の「研究開発成果の品質とは何か！向上への取組」

各研究部長等

(3) ディスカッション

テーマ「研究開発成果の品質とは何か！向上への取組」

モデレーター：理事 渡辺郁夫



訓示を述べる鉄道総研 会長 正田英介



鉄道の価値を高めるための目標と戦略について講演を行う
鉄道総研 理事長 熊谷則道

トピックス

鉄道総研の職員が平成29年度 科学技術分野の 文部科学大臣表彰を受賞しました

鉄道総研職員が「平成29年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰
若手科学者賞」を受賞しました。

受賞者：構造物技術研究部 鋼・複合構造研究室
主任研究員 仁平 達也(にへい たつや)

【受賞業績：地震時のRC部材の損傷検知手法と修復後の性能評価法の研究】

近年、大規模地震が多く発生しているが、これまで地震後に迅速かつ高精度に構造物の損傷状態を推定する手法はなく、修復後の部材性能についても過去の経験等に基づく定性的な評価に留まっていた。

受賞者は、RC部材の損傷状態と関係がある最大変形量（最大応答部材角）に着目し、これを地震時に直接的に測定するセンサーと、近隣の構造物を含めた構造物損傷状況を推定する手法を開発し、最大応答部材角と修復方法に応じた修復部材の定量的な評価手法を提案した。

本研究成果は、地震後の列車運行再開に係る時間の短縮や適切な修復方法の選定を可能とするものであり、鉄道構造物のさらなる安全性の向上に寄与するものと期待される。

